

報 告 書

開催日時	平成28年8月3日(水) 19:00~20:45	
開催場所	西有田公民館	
出席議員	(1班) 嶋崎・大谷・古田・坂本(茂)・安達	
	班 長	大谷
	司 会 者	大谷
	記 録 者	古田
参加人数	9名	
主な要望 ・ 提 言 等	○A氏	
	1. 政務活動費は今の金額では足りないのではないかと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">足りる人、足りない人がいる。使い切った人は約半数、平成28年度から使途について厳格化して見直した。今後、さらに議会改革特別委員会で検討したい。</div>	
	2. 若者の育成ということで、日田林工高に林業科の県立高等専門学校の設置を考えてもらいたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">西日本には林業に関する専門学校がないが、京都には府立の専門大学がある。広瀬知事に要望した経緯もある。今後、市長、県議とともに引き続き要望して行きたい。</div>	
	○B氏	
1. 熊本大分地震で復興券が発行されたがコンビニでは買えない、すぐなくなる。商品券を発行しているが、小売店が手数料として5%負担しなければならない。この手数料は市で助成してもらえないのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">商品券に対する手数料の補助については、よく調べて後日お知らせする。</div>		
2. 若い世代の婚活について、支援とか後押しなど、言うだけは誰でもできる。もっと具体的に何をするのかを言ってもらいたい。子育てのところで、保育園と認定子ども園はどう違うのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">婚活の支援については、専門部署は設置しないが、協議会を発足させるなど一定の前進はある。今後官民協力して取組んでいきたい。 保育園と認定子ども園の違いは、保育園は3歳以上の保育を必要としない1号認定の子どもは入所できないが、認定子ども園は、1号認</div>		

定と保育を必要とする0歳～5歳までの子どもが入所できる。

子ども子育て支援については、国の制度が大きく変わった。3歳以上は教育に重点を置いている。日田市には幼稚園が全て認定子ども園に変わった。今後、保育園も認定子ども園に移行していくと思われる。

3. シャトルバス、福祉バスは乗り継ぎが悪い、高齢者は困っている。

公共交通のネットワーク化を図ることとして、コミュニティバスを6コースを運行している。上・中津江にはデマンドバスを運行、廃止代替バス運行は日田バスに委託、また、地方バス路線維持の対策として3つのバス会社に委託し、乗り合いタクシーとして大鶴地区、池辺地区、天瀬、前津江地区で運行、高齢者を対象とした福祉バスの運行など切れ目のない交通体系を図るよう取り組んでいきたい。

4. 水郷日田といわれ、水はたくさんあるのに水道代が高すぎる。

水道料金は、10t以下の利用家庭は料金を1,380円から1,030円に引き下げた経緯がある。周辺の簡易水道については、少しずつ上げていき料金を統一していく方向でいっている。上水道の会計は成り立っている。料金を下げると、施設更新に一般財源から持ち出さなければならぬという面がある。

意見を受け止めて、委員会の中で検討し、執行部に伝えたい。

水と電気は生活の命、水道は特別会計をつくっている。

人口減で水道使用量も減少している。更新費用もかかるので、一般財源も厳しい中で、料金を下げるとするのは難しいのではないかと思われる。

○C氏

1. 4月5日の西日本新聞に、地方創生について島根県雲南市の取り組みを紹介していた。大山、天瀬に「地域おこし協力隊」が入っているが、どう参考にするのか。

以前から雲南市は、新しい自主組織をつくっている。水道の検針の時に、手数料を支払い委託して見守り活動を行っている。

自治会や消防団、女性グループなどで新しい自主組織をつくり、地

域は自分たちで守る活動をしている。同市には43の新しい「地域自主組織」があり、市の交付金や住民負担金などで自主事業を実施している

2. 雲南市は日田市より規模が小さいが、参考にできないのか。

これからの時代は、自助・共助・公助といわれるように、行政に何もかも頼るのは難しくなっている。市職員も減少していく中で、共助に力点を置いて、自ら取り組んでいく側になる。共助のモデルケースとして取り組んでいかなければと考える。

○D氏

1. 地方創生の中で近隣都市圏への通勤・通学、移住など交流とあるが近隣都市はどこを指すのか。

一つの提案であるが、新幹線開通の前、熊本は特急を使って通勤できるように、南熊本、水前寺、大津まで伸ばした。これにより人口流失を止めることができた。

日田に置き換えると、JRは久留米~日田は本数も少なく不便、バス少しはよくなっているが、充分ではない。企業誘致や学校誘致も難しい。熊本方式を取り入れたらどうか。人をいかに呼び込むか、留めるか、人が来るようなインフラの面で知恵を出せないか。考えて欲しい。

近隣都市圏は福岡を想定している。バスは高速バスがあり便利にはなっているが、JRはまだ不便である。

提案については、持ち帰らせて頂き、検討して申し入れしたい。